

コンパクトで倒伏に強い稲づくりと気象変動に強いコメづくり 春作業編

- 令和7年産米の収量・品質の向上に向けて、適切な作業計画を立てましょう！
- 昨年の育苗では徒長・老化した苗が多く、初期生育に影響しました。ハウス内の温度管理を徹底し、特にヤケ苗・徒長苗に注意しましょう。

1. 田植え日に合わせた育苗計画

【作業スケジュール例（加温出芽、ハウス管理の場合）】

健苗育成のため、品種ごとに適正な作業計画を立て、田植え日に合わせた適期播種、適正播種量、適切な温度管理に努めましょう。

	浸種	← 10日 →	催芽	播種	← 25日 →	田植え	10a 当り 使用箱数の目安
葉月みのり	3/19	10℃×10日	3/29	3/31	← 25日 →	4/25	17箱
ゆきん子舞 新潟次郎	3/28	10℃×10日	4/7	4/9	← 24日 →	5/3	18~20箱
こしいぶき	4/5	10℃×10日	4/15	4/17	← 18日 →	5/5	18箱
コシヒカリ	4/10	12℃×10日	4/20	4/22	← 18日 →	5/10	16箱
新之助	4/13	10℃×10日	4/23	4/25	← 18日 →	5/13	16箱

2. 浸種から播種までの作業手順

浸種

○積算温度 100℃ をしっかり確保。
水温は 10~15℃
※令和6年産のコシヒカリ種子の休眠はやや深いと予想されています。積算温度 120℃ を目安に浸種期間をしっかりとって休眠を打破しましょう。

催芽

○催芽時の温度は 30℃
温度計を入れて確認する。
○ハト胸になった催芽粃の割合が 80%以上 になったのを確認して催芽を終了する。




播種

○1箱当たりの播種量の目安
乾粃 140g/箱 (催芽粃 175g/箱)

～浸種ポイント～
最初の水温は冷たくしない
その後は水温の上がりすぎに注意

- ◇酸素不足にならないよう十分な水量を確保し、適切な水更新を行いましょ。
- ◇浸種初期の水温が10℃より低いと発芽不良を起こす場合があるので、浸種前には必ず水温を確認しましょう。
- ◇気温が上がり、水温が15℃以上になりそうな場合は、午前中に水の更新を行いましょ。

3. 品種に合わせた栽培管理

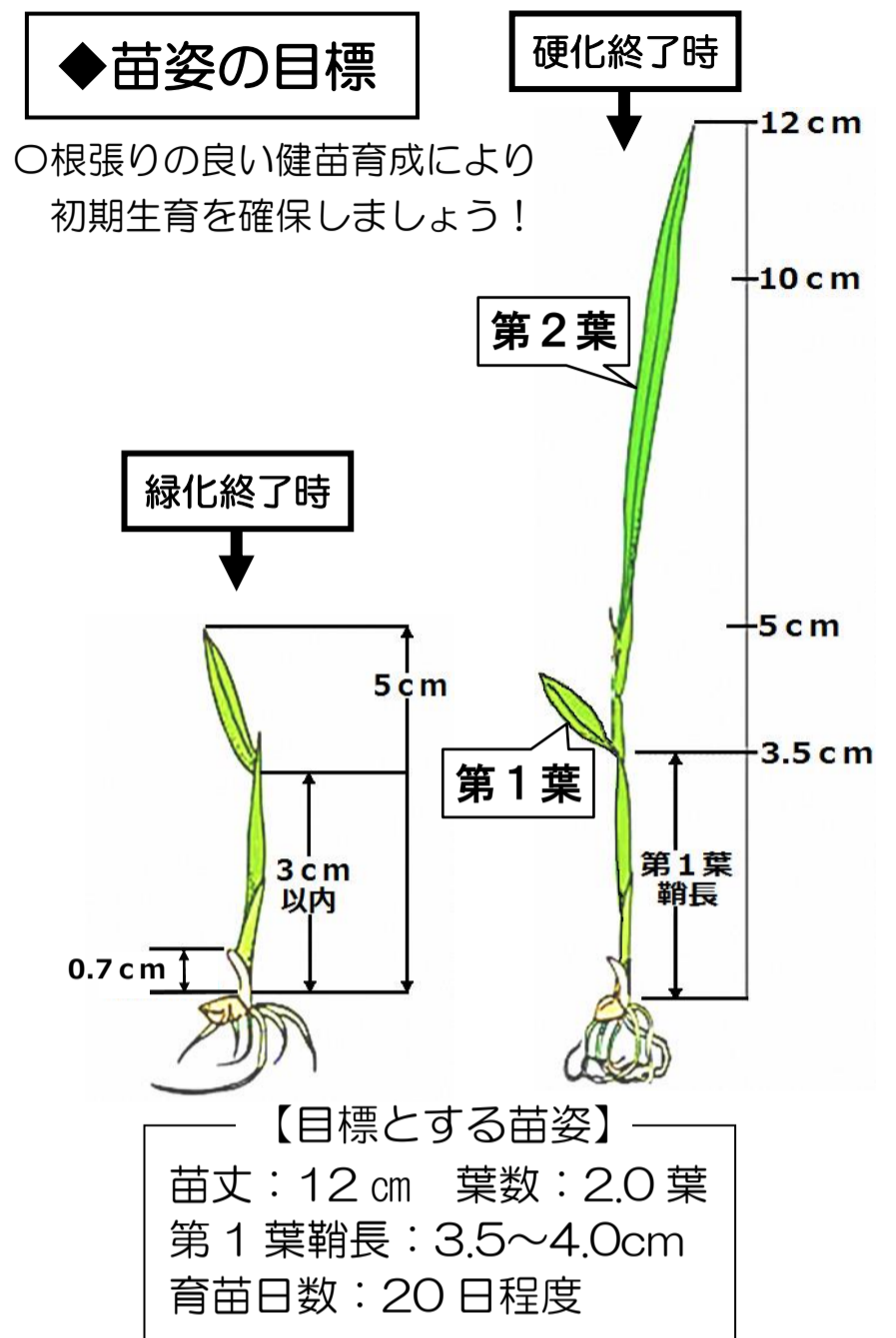
○基肥の目安…品種ごとに適した肥料・散布施用量で施用実施しましょう。

品種	分施の場合			全量基肥の場合		
	肥料名	施用量 (kg/10a)	窒素量 (kg/10a)	肥料名	施用量 (kg/10a)	窒素量 (kg/10a)
コシヒカリ	越後の輝き有機 50 元肥	25~30	2.5~3.0	越後の輝き有機 50 スーパー元肥	30~40	3.6~4.8
こしいぶき	国産化成肥料 14-14-14	25~30	3.5~4.2	JA 柏崎専用ワンタッチ早生	40	6.0
葉月みのり	国産化成肥料 14-14-14	30	4.2	早生多収米一発元肥 307	27	8.1
ゆきん子舞	高窒素エコマル 888	40	7.2	早生多収米一発元肥 307	40	12.0
新潟次郎	高窒素エコマル 888	40	7.2	早生多収米一発元肥 307	40	12.0
新之助	越後の輝き有機 50 元肥	25~30	2.5~3.0	越後の輝き有機 50 スーパー元肥ロング	30~40	3.6~4.8

※上記の施肥量は目安です。田んぼの地力に応じて施用量を調整しましょう。

4. ハウス育苗（稚苗）の管理

時期	緑化期		硬化期	
実施期間	2～4日間		12～13日間	
被覆	・第1葉が開いたら、シートを取り除く。		・基本的にハウスを開放し、霜注意報など低温時には閉める。	
換気	・ハウス内の温度が20～25℃以上の場合は、ハウスを換気する。		・田植え1週間前頃からは夜間もハウスを開放し外気にならす。	
<div style="border: 2px solid red; padding: 5px; display: inline-block;"> 晴天時は早めに換気！ ヤケ苗・徒長苗を防ぎましょう！ </div>				
温度	昼	20～25℃	昼	15～20℃
	夜	15～18℃	夜	10℃以上
かん水	・緑化開始時に土の状態を確認し、かん水を行う。 ・土の表面が乾いた場合は、1日1回午前10時頃までに行う。		・前半は1日1回、後半は乾き具合をみて1日2回行う。 ・床土の温度低下を防ぐため、午後3時までにかん水を終了する。	



5. 丁寧な本田管理

【耕起】

根の分布を広げ健全な根の発達を図るために、作土深は15cmを目標にしましょう。一度に深耕すると下層の不良土壌が多く混入して逆に地力低下を招くことがあるため、毎年少しずつ深耕しましょう。

【代かき】

土の練りすぎや代かき層が深すぎて土壌中が酸欠状態になると、苗の活着や根張りが悪くワキも発生しやすくなります。表面のみ（3～4cm）を代かき層に仕上げ、下層にはゴロゴロとした土塊が残る程度にしましょう。

丁寧な代かきで漏水を防ぐとともに、ほ場の均平化に努めましょう！

【雑草対策】

管内ほ場では例年、夏季の高温の影響もあり、ヒエ・ホタルイがまん延しています。ヒエに代表されるイネ科雑草は種子の生産量が多いため、放置すると土壌中の埋没種子が蓄積され、雑草の発生密度が高くなります。刈取り後の雑草の再増殖による種子が多く残っていることも予想されるため、特に前作が極早生・早生のほ場では注意が必要です。

代かきから田植えまでの間隔が開くと雑草の生育が進むため、代かきはなるべく田植え2～3日前に行い、田植えまでの間隔を開けずに雑草の発生を抑えましょう。

◎ SNS・メールで情報提供しています！

＜JA えちご中越柏崎地域営農情報＞



アカウントID：@882qbimy

＜柏崎農業普及指導センター メールマガ＞



ngt111840@pref.niigata.lg.jp

こちらのアドレスに、
 ①件名は「メールマガジン申込」
 ②本文に「氏名」、「電話番号」を
 記入の上、送信してください。

柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、新潟県農業共済組合中越支所、えちご中越農業協同組合、柏崎土地改良区
 柏崎農業普及指導センター（新潟県柏崎地域振興局農業振興部）

【お問い合わせ先】

全地区共通
 柏崎農業普及指導センター 21-6263

東部田尻・西中通・高柳
 かしわざき営農センター 35-8188

南部高田・中央柏崎地区
 かしわざき南部営農センター 41-6087

刈羽・西山地区
 かしわざき北部営農センター 45-2258